

平成6年度ブライトいばらきデザイン展

平松 茂夫* 佐藤 茂* 椎名美佳子**
鷲野谷 昇*** 大津 好満***

1. 緒 言

当事業は、デザインを生かした地場産業の振興及びデザイン業等ソフト産業の振興を支援するため、県内中小企業にデザイン効用への理解と増進を図り、優良県産品に対する県民の関心と普及を高め、もってデザインに係わる関係業種間の交流を推進し、産業の振興に寄与することを目的に開催したものである。

事業の内容は、県内の中小企業が製造する生活関連製品、工業製品等の展示・紹介を柱とし、県内デザイン系教育機関作品展、デザイン事務所、建築設計事務所の作品紹介、さらにはデザインプロセスの展示・紹介で構成した。

2. 内 容

展示会の名称 ブライトいばらきデザイン展
開催期日 平成7年3月12日～3月16日(5日間)
展示会場 茨城県立県民文化センター
展示室、県民ギャラリー
主 催 茨城県、茨城デザイン振興協議会

3. 催事構成

3.1 展示コーナー

(1) プロダクト商品

工業製品、家具・木工品、繊維製品、陶磁器・ガラス製品等52社581点

(2) デザイン事務所作品

グラフィックデザイン、イラストレーション等14社55点

(3) 建築デザイン作品

環境、建築、内装デザイン等6社30点

(4) 特別展示

県内デザイン教育機関の学生展示6校88点

3.2 デザインプロセス

グラフィック、建築、工業製品、家具、織物、焼物等デザインの手順や工程をパネル、実物で紹介

4. 結 果

地場産業を中心とした製造業やデザイン事務所、建築設計事務所等デザインを経営資源とする企業より72社、754点の参加が得られた。また、765名の入場者が得られ、会期の前後には新聞各紙、茨城放送1局で報道されるなどマスコミからも注目された。

展示品のデザインレベル及び会場の設計施工は質・量とも前回より数段向上し、まさにデザイン展にメ、さわしい内容となった。また、参加企業の利益確保と開催後のフォローの具体化のため、展示内容を記録した「デザイン展記念誌」(A4版34頁)を発刊し、入場者をはじめ行政機関や商工団体、全国公設試験研究機関等へ配布した。

以上のようにデザイン展の質的な内容を高め、県民のデザインへの理解と共感の形成、行政、産業界、地域を含むデザイン・マインドの高揚、さらには参加企業の事業機会の拡大と交流の場の提供という当初の目的が達成され、今後

も継続した取り組みを行うことにより、デザインに対するさらなる関心と親近感の醸成が期待できると思われる。

本事業の推進に際しては、3部のデザイン担当者で推進会議を構成し、企画・立案・運営に当たった。また、茨城デザイン振興協議会の代表者で構成した「ブライトいばらきデザイン展実行委員会」では、主に記念誌の企画・発行、出展者の勧誘、展示会場の企画・設営など絶大なご協力をいただいた。

おわりに、本事業の実施に当たり数々のご協力をいただいた実行委員会委員の各位並びにご後援いただいた(株)日本産業デザイン振興会はじめ県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業振興公社、県中小企業団体中央会、茨城新聞社、(代)日本グラフィックデザイナー協会の関係機関の方々にお礼申し上げます。



図1 展示会会場風景



図2 展示会会場風景